

フィールドロガー DL30 シリーズ		
取扱説明書	Web ロガー 2	形 式
		DL30

ご使用いただく前に

このたびは、弊社の製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。本器をご使用いただく前に、下記事項をご確認下さい。

■梱包内容を確認して下さい

- ・ Web ロガー 2 1 台

■形式を確認して下さい

お手元の製品がご注文された形式かどうか、スペック表示で形式と仕様を確認して下さい。

■取扱説明書の記載内容について

本取扱説明書は本器の取扱い方法、外部結線および簡単な保守方法について記載したものです。詳細は、取扱説明書（操作用）（NM-8571-B、NM-8571-G）をご参照下さい。弊社のホームページよりダウンロードが可能です。

ご注意事項

●EU 指令適合品としてご使用の場合

- ・ 本器は盤内蔵形として定義されるため、必ず導電性の制御盤内に設置して下さい。
- ・ お客様の装置に実際に組込んだ際に、規格を満足させるために必要な対策は、ご使用になる制御盤の構成、接続される他の機器との関係、配線等により変化することがあります。従って、お客様にて装置全体で CE マーキングへの適合を確認していただく必要があります。

●供給電源

- ・ 許容電圧範囲、消費電力
スペック表示で定格電圧をご確認下さい。
直流電源：定格電圧 24 V DC の場合 24 V DC $\pm$ 10%、
約 18 W、約 5.3 W（単体取付時）

●取扱いについて

- ・ 本体の取外または取付を行う場合は、危険防止のため必ず、電源を遮断して下さい。
- ・ 本器はホットスワップに対応していません。また、本器と R30 の入出力カードを組合わせて使用する場合、R30 の入出力カードもホットスワップすることは不可となります。
- ・ 端子台を取外または取付を行う場合は、危険防止のため必ず、電源を遮断して下さい。

●設置について

- ・ 屋内でご使用下さい。
- ・ 塵埃、金属粉などの多いところでは、防塵設計のきょう体に収納し、放熱対策を施して下さい。
- ・ 振動、衝撃は故障の原因となることがあるため極力避けて下さい。
- ・ 周囲温度が 0 ～ 50℃ を超えるような場所、周囲湿度が 10 ～ 90 % RH を超えるような場所や結露するような場所でのご使用は、寿命・動作に影響しますので避けて下さい。

●配線について

- ・ 配線は、ノイズ発生源（リレー駆動線、高周波ラインなど）の近くに設置しないで下さい。
- ・ ノイズが重畳している配線と共に結束したり、同一ダクト内に収納することは避けて下さい。
- ・ FE 端子の配線長は 3 m 以下として下さい。
- ・ 感電防止のため、必ず端子カバーを取付けて下さい。

●SD カードの取扱いについて

- ・ データ収録中は絶対に DL30 の電源を切らないで下さい。またデータ収録中の SD カードの抜き差しは、決められた手順に従って正しく行って下さい。
- ・ SD カードを取付ける際は、SD カードの表裏を確認して下さい。

●カレンダー時計について

- ・ カレンダー用 IC のバックアップには電池を使用しています。電源を投入しない状態でのバックアップ可能期間は約 2 年です。
- ・ 電池の消耗を防ぐため、電池バックアップ機能は出荷時 OFF になっています。ご使用を開始される際に ON にして下さい。
- ・ 電源投入状態では電池は消耗しませんが、電源断期間の合計が約 2 年になると、カレンダーのバックアップが不可能になり、カレンダーが正常な時刻を保つことができなくなります。
- ・ お客様で電池の交換はできません。交換が必要な場合は、弊社までお問い合わせ下さい。

●その他

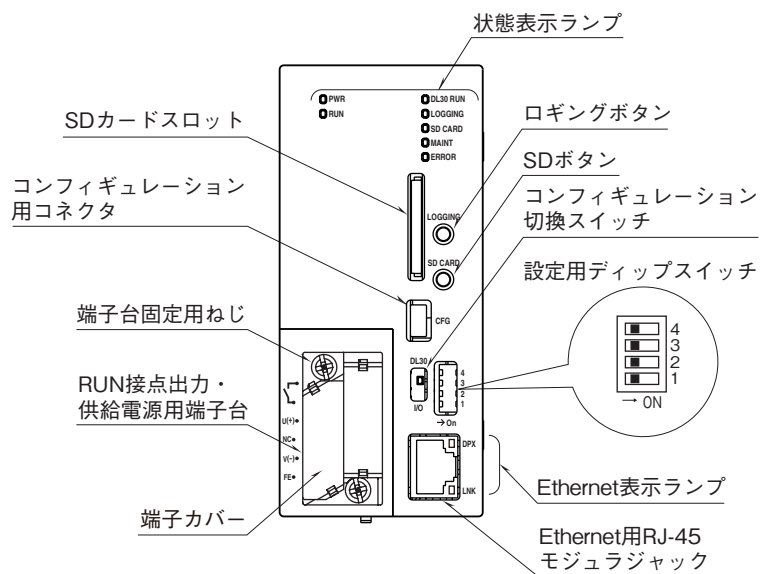
- ・ 本器は電源投入と同時に動作しますが、すべての性能を満足するには 10 分の通電が必要です。

ユーザ登録（無料）のご案内

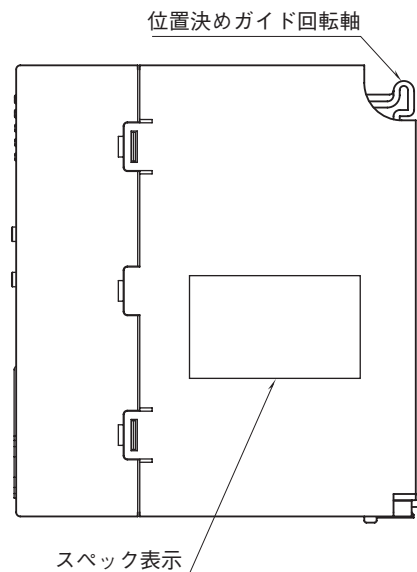
ファームウェアバージョンアップの情報をお受け取りいただくために、ユーザ登録をお願いします。ユーザ登録は、弊社ホームページにある「ユーザ登録」より行なって下さい。

各部の名称

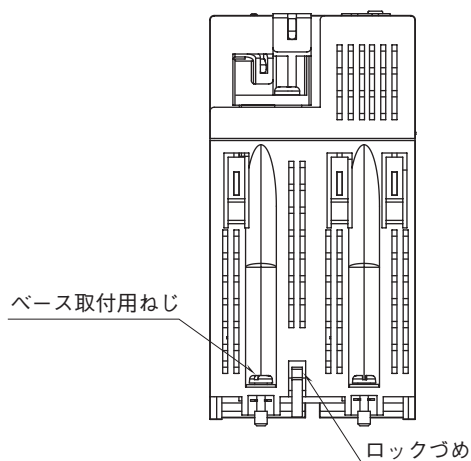
■前面図



■側面図



■底面図



■状態表示ランプ

ランプ名	表示色	動 作
PWR	緑色	電源 ON 時点灯 電源 OFF 時消灯
RUN	緑色	正常時点灯 ^{*1} 異常時消灯 (内部メモリ異常、SD カード異常、R30 カード異常) ^{*1}
DL30 RUN	緑色	起動後点灯 異常時消灯 (IP アドレス未設定) 通信中点滅
LOGGING	緑色	ロギング停止時消灯 ロギング中点灯
SD CARD	緑色	SD カード認識中点灯 アクセス時点滅 不認識／取外し時消灯
MAINT	橙色	メール通報停止／メンテナンスモード中点灯 通常時消灯
ERROR	赤色	異常時点滅 (内部メモリ異常、SD カード異常、R30 カード異常) ^{*1} 正常時消灯 ^{*1}

* 1、正常時は RUN 接点出力 ON。電源投入前または異常時 (内部メモリ異常、SD カード異常および R30 カード異常) は RUN 接点出力 OFF。

■Ethernet 表示ランプ

ランプ名	表示色	動 作
DPX	緑色	全二重通信時点灯
LNK	黄色	リンク確立時点灯

■コンフィギュレーション切換スイッチ

(*) は工場出荷時の設定

スイッチの位置	コンフィギュレーションの対象
DL30	DL30 のコンフィギュレーション(*)
I/O	R30 入出力カードのコンフィギュレーション

■設定用ディップスイッチ

(*) は工場出荷時の設定

・DL30 コンフィギュレーション接続先設定 (スイッチ 1)

スイッチ 1	DL30 コンフィギュレーション USB 接続先
OFF	DL30CFG ^{*2} (*)
ON	通信ログ確認ターミナル

・メール通報機能設定 (スイッチ 2)

スイッチ 2	メール通報機能
OFF	有効(*)
ON	無効

・メンテナンスモード設定 (スイッチ 3)

スイッチ 3	メンテナンスモード
OFF	無効(*)
ON	有効 (記録及び通報を停止)

・カレンダー時計電池バックアップ設定 (スイッチ 4)

スイッチ 4	カレンダー時計電池バックアップ
OFF	無効(*)
ON	有効

* 2、DL30-G の場合は「DL30GCFG」

注 1) 電池の消耗を防ぐため、電池バックアップ機能は出荷時 OFF になっています。ご使用を開始される際に ON にして下さい。

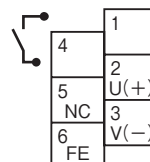
■ロギングボタン

1 秒間の長押しによりロギングの開始／停止の切換えを行います。

■SD ボタン

4 秒間の長押しにより状態表示ランプの SD CARD が消灯となり、安全に SD カードを取外することができます。

■端子配列



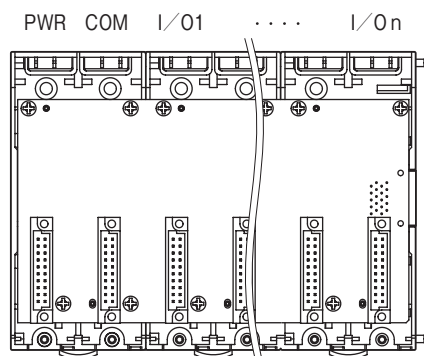
端子番号	信号名	機 能
1	RUN 接点出力	RUN 接点出力
2	U (+)	供給電源 (24 V DC)
3	V (-)	供給電源 (0 V DC)
4	RUN 接点出力	RUN 接点出力
5	NC	未使用
6	FE	機能接地

取付方法

■ベースへの取付

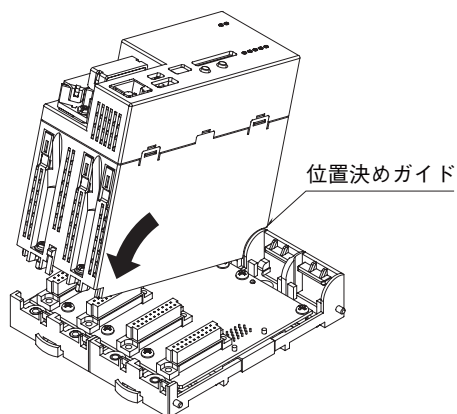
ベース（形式：R30BS）をお使い下さい。

DL30 はベースの PWR、COM スロットに実装します。

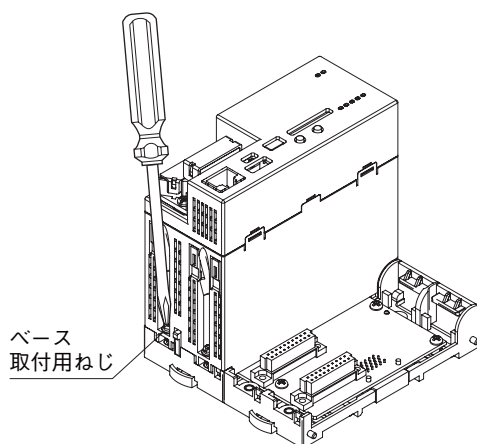


■取付方法

- ① 本体の位置決めガイドをベースに嵌め合わせます。
- ② 位置決めガイドを軸として本体を回転させながら、ロックづめが掛かるまで押下げます。

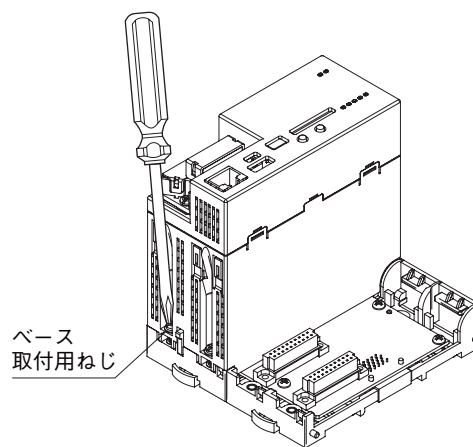


- ③ ドライバ（軸長さ：70 mm 以上）でベース取付用ねじを締付けます。（締付トルク：0.5 N・m）

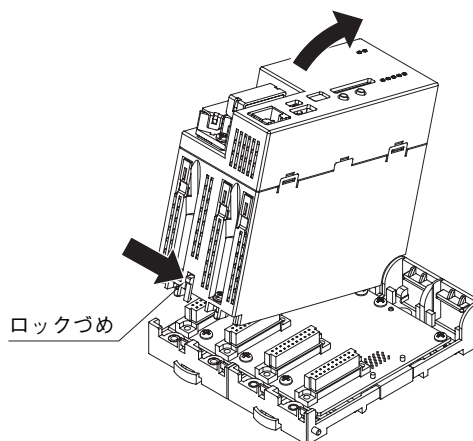


■取外方法

- ① ドライバ（軸長さ：70 mm 以上）でベース取付用ねじを緩めます。



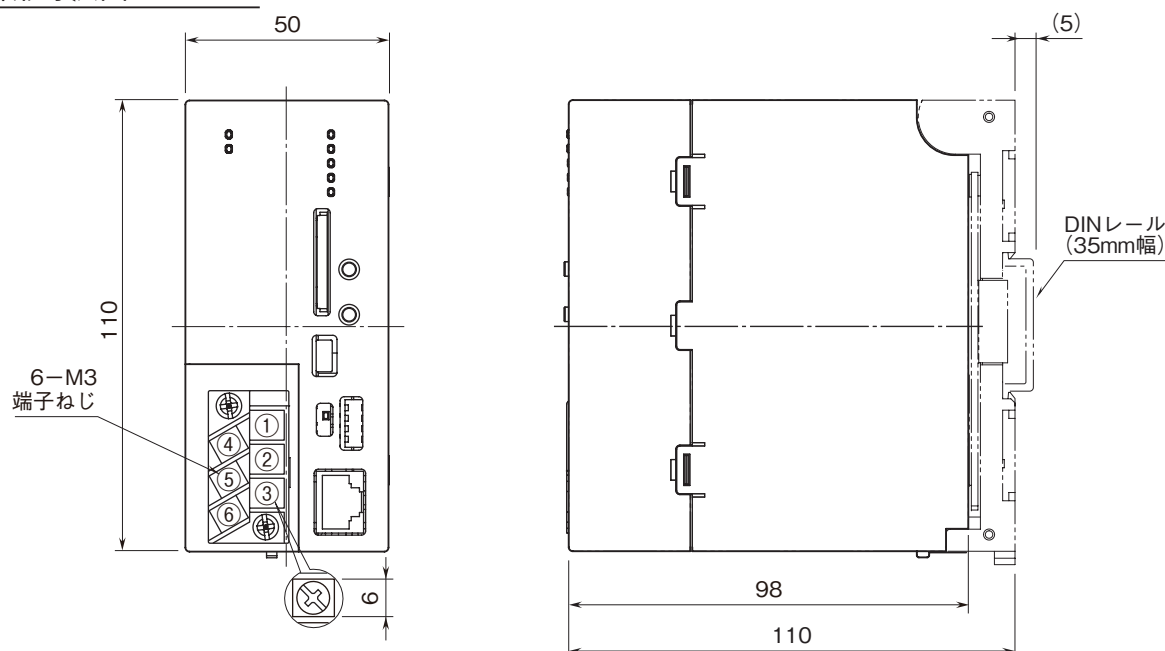
- ② ロックづめの突起部を押しながら本体を押上げます。
- ③ 本体の位置決めガイドをベースから取外します。



接 続

各端子の接続は端子接続図を参考にして行って下さい。

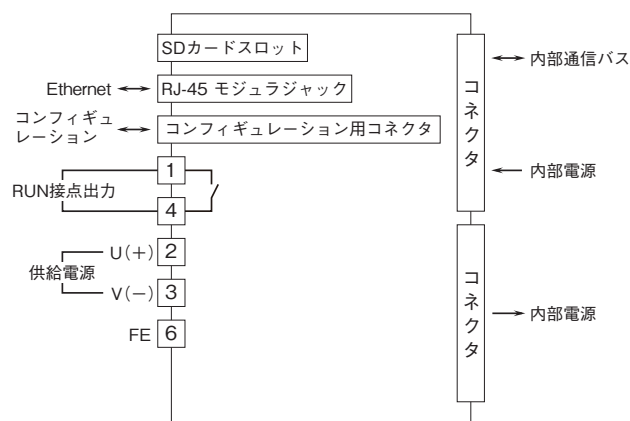
外形寸法図 (単位: mm)



端子接続図

EMC (電磁両立性) 性能維持のため、FE 端子を接地して下さい。

注) FE 端子は保護接地端子 (Protective Conductor Terminal) ではありません。



配 線

■締付トルク

2 ピース端子台配線用ねじ: 0.5 N・m

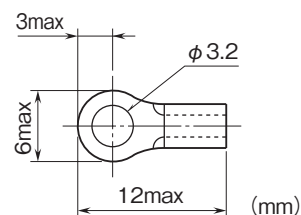
2 ピース端子台固定用ねじ: 0.5 N・m

■圧着端子

圧着端子は、M3 用の下図の寸法範囲のものを使用して下さい。また、Y 形端子を使用される場合も適用寸法は下図に準じます。

推 奨 メ ー カ: 日本圧着端子製造、ニチフ
(スリーブ付圧着端子は使用不可)

適 用 電 線: 0.25 ~ 0.75 mm²



■2 ピース端子台の取外方法

本器の端子台は着脱可能な 2 ピース構造となっており、端子台着脱用ねじを均等に緩めることにより、端子台を取外すことが可能です。

保 証

本器は、厳密な社内検査を経て出荷されておりますが、万一製造上の不備による故障、または輸送中の事故、出荷後 3 年以内正常な使用状態における故障の際は、ご返送いただければ交換品を発送します。